



[2015年度第2四半期決算の概要]

連結純利益 1,012億円

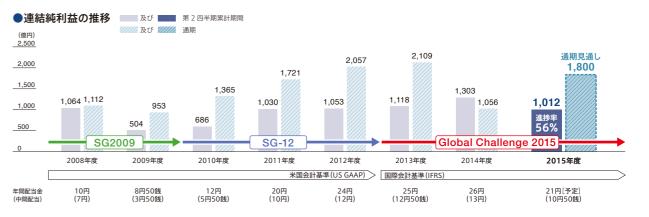
当社の2015年度第2四半期決算につき、まず収益面からご説明します。

当第2四半期累計期間の連結純利益は 1,012億円となり、期初に設定した通期見 通し1,800億円に対する進捗率は56%と なりました。

この間の経営環境を振り返りますと、中国をはじめとする新興国での成長鈍化が顕著となり、世界経済の減速懸念が強まりました。加えて、米国が金融緩和の縮小を進めていることを背景に、新興国からの資金流出が続き、金融市場の不安定さも増しています。この夏には世界的に株価が急落するなどの混乱もあり、市場のボラティリティ(変動率)が高まっています。

このような厳しい環境の中、当社業績については、特に資源分野が市況悪化により苦戦し、さらには石油・ガス開発、あるいは海外プラントのプロジェクト案件で減損損失を計上するなどの特殊要因が加わったことから、前年同期比で△291億円の連結純利益の減益を強いられる結果となりました。

しかしながら、特殊要因を除いた実態の収益力は、前年同期とほぼ同水準であったと分析しています。資源分野は、当社収益への影響の大きい石油・ガスや銅の価格が大きく下落したことにより、利益水準が約200億円程度落ち込んだものの、非資源分野は円安の追い風もあり、逆に約200億円程度収益を伸ばしています。



^{·「}親会社の所有者に帰属する当期利益」及び「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「連結純利益」と表記しております。

非資源分野では、当社が従来から強みを持つ「電力」や「輸送機」が引き続き堅調に推移した ことや、「化学品」のトレーディングビジネスが 好調であったことなどが、全体の収益を下支え しました。当社の非資源分野における収益 基盤は着実に強化されていると手応えを感じて います。

ネットD/Eレシオ 1.71倍

次に、財務面についてご説明します。

2015年9月末資本合計は1兆6,901億円。 当第2四半期累計期間も利益の積み上げなど により、前年度末比+114億円の増加となり ました。

一方、ネット有利子負債は2兆8,896億円。後 ほどご説明するキャッシュフロー管理の強化・ 徹底により、前年度末比+20億円とほぼ横這いに推移しました。

その結果、ネットD/Eレシオは1.71倍となり、前年度末比0.01ポイント改善しています。 収益基盤の拡充を図りながら、同時に、財務 規律を遵守して財務体質を強化するというの が基本方針です。



中間配当金 1株当たり10.5円

当社は、内部留保を拡充し有効活用することにより、企業価値と競争力を極大化すると

同時に、株主の皆様への配当を安定的に継続 していくことが企業としての重要な責務であ ると認識しております。

株主の皆様への利益還元の水準は、各期の 業績に連動させる考え方を取り入れています。 2015年度の中間配当金は、連結配当性向を 20%以上とする方針に基づき、予定通り1株 当たり10.5円といたしました。

中間配当金は12月2日より支払いを開始いたします。

[中期経営計画 『Global Challenge 2015 (GC2015)』 の進捗] 基本方針

続いて、現在推進中の中期経営計画『GC 2015』の進捗状況についてご説明します。

『GC2015』では、「当社グループが強みや知見を有し、競争力のあるビジネス分野で、主導的役割を発揮できる事業を拡大することにより、持続的成長を実現するとともに、強靭な収益構造と強固な財務体質を構築する」ことを

標榜しています。

この基本方針のもと、当第2四半期累計期間においても、新規投融資の実行や資産の優良化を推し進めています。さらに、2015年度はフリーキャッシュフローの黒字化という新たな目標を掲げています。

新規投融資の進捗状況

新規投融資は、収益基盤の強化に当たっての重要な施策です。『GC2015』では3カ年合計で1兆1,000億円程度の新規投融資を計画していますが、前年度までの2年間で約9,000億円を実施、この第2四半期累計期間には、案件を厳しく選別のうえ、約1,000億円を実行しています。

この期間の案件を分野別にご紹介すると、 資源分野においては、エネルギー権益案件で 開発進捗に伴う資金拠出を行っています。 一方、非資源分野においては、機械グループで風力・天然ガス・太陽光などによる海外発電事業やブラジル・ガーナでのFPSO*傭船事業を推進しており、また、食料・生活産業グループでは米国の農業資材販売会社であるヘレナケミカル社(100%子会社)が顧客ネットワークの拡張を狙い、事業買収を実施しています。

※ Floating Production, Storage & Offloading System: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備

04

| 計長メッセージ TOP MESSAGE

2015 WINTER

●『Global Challenge 2015』新規投融資計画

● Global Challenge 2015』 新規技融員計画								
		2013年度 通期実績*	2014年度 通期実績	2015年度 第2四半期 累計実績	2015年度 第2四半期累計期間 主要案件	GC2015 累計実績	GC2015 計画	
	資源関連 グループ	約 1,850 億円	約 1,400 億円	約 550 億円	●エネルギー権益案件(米/英)	約 3,800 億円	40% 程度	
非資源	機械グループ	約 2,700 億円	約 1,800 億円	約 400 億円	●洋上風力発電事業(英)●FPSO傭船事業(ブラジル/ガーナ)●天然ガス焚き火力発電事業(米)◆太陽光発電事業(チリ)	約 4,900 億円	60%	
源	食料・生活産業 グループ	約 750 億円	約 500 億円	約 50 億円	●農業資材リテール事業(米)	約 1,300 億円	程度	
슴計		約 5,300 億円	約 3,700 億円	約 1,000 億円		約 10,000 億円	3力年合計 11,000億円 程度	
▼トション・サービュン・サービュン・サービュン・サービュー・サービー・サー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービュー・サービー・サービ								



エネルギー権益案件



FPSO傭船事



農業資材リテール事業

*上記の他、ガビロン社買収(約27億米ドル)を実施

資産の優良化

収益基盤の強化を図るうえで、新規投融資とともに重要であるのが保有資産の優良化です。 限られた経営資源の中で、成長・発展を実現する ためには、当社が保有する資産や事業の質をど れだけ改善できるか、言い換えれば、どれだけ優 良化できるかが大きな鍵となります。その方策の ひとつがイノベーション(変革)の追求です。イノ ベーションとは、市場や顧客ニーズの変化を捉 え、現状に満足することなく自らの機能を見直 し、自らを変えていくことです。潜在需要を掘り 起こしたり、時代の潮流を読んでビジネスモデル を最適化するなど、収益力の向上を図ります。

これまでの成功事例も活かし、常に新たなイノベーションへの挑戦を続けていきます。成長や発展を持続的なものとするためには、将来を見据え、たゆまぬ挑戦が必要です。

関連記事:P12 特集[成長へのイノベーション]

フリーキャッシュフローの黒字化

これまでご説明してきた通り、案件を厳選して新 規投融資に取り組み、資産の優良化を徹底して推進 することで、当社の収益基盤はより強固なものと なっています。ただし、不安定な経営環境が続く中では、より一層財務体質を改善させる必要があります。 そのための施策がフリーキャッシュフローの黒字化 であり、2015年度の重要課題と位置付けています。 まず、営業キャッシュフローについては、収益基 盤の強化のみならず、営業運転資金の効率化を

加速することで、その改善を図っています。また、

投資キャッシュフローについても、収益性の低い 資産を入れ換えたり、優良な案件でも戦略的な観 点で回収するなど、キャッシュフローの最大化を 意識した経営を実践しています。

[今期業績見通しについて]

最後に、2015年度の業績予想について申し上げます。

冒頭でご説明した通り、当第2四半期累計期間の 連結純利益は1,012億円、期初に設定した通期見通 し1.800億円に対し、進捗は順調と評価しています。

しかしながら、資源市況は依然低迷を続けているなど、先行きの不透明感が拭えない状況です。かかる状況の下、市況の悪化を織り込み、業績見通しを慎重に検証しましたが、1,800億円の達成は十分可能と判断し、当初の見通しを据え置いています。

また、2015年度末のネットD/Eレシオについても 当初の目標を変えず、1.6倍程度とする計画です。新 規投融資や資産の優良化を通じ、収益基盤の強化 を図るとともに、フリーキャッシュフローの黒字化 達成により、財務体質のさらなる改善を目指します。

市場のボラティリティの高まりが象徴するように、経営環境には大きな変化が見られますが、この変化はチャンスでもあります。変化への対応に 困難は伴いますが、市場や顧客のニーズを見極め

代表取締役社長国分文也

れば、当社が機能を発揮するチャンスは確実に広がります。当社を取り巻く環境の変化を前向きに捉え、全社一丸となって、新たなビジネスチャンスを追求していく所存です。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援 を頂戴いたしたく、よろしくお願い申し上げます。



●.2016年3月期(2015年度)第2四半期の連結業績(2015年4月1日~2015年9月30日)							
①. 連結経営成績【累計】	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減率				
売上高	6,524,221 вля	7,110,555百万円	-8.2%				
営業利益	74,592 百万円	92,453百万円	-19.3%				
税引前利益	117,392 百万円	170,591百万円	-31.2%				
親会社の所有者に帰属する四半期利益	101,218 百万円	130,272百万円	-22.3%				
基本的1株当たり四半期利益	58.33 _用	75.07ฅ					
②. 連結財政状態	2015年9月30日	2015年3月31日					
資産合計	7,524,515 в л н	7,673,064百万円					
資本合計	1,690,127 百万円	1,678,713百万円					
親会社の所有者に帰属する持分	1,533,596 百万円	1,518,515百万円					
親会社所有者帰属持分比率	20.4%	19.8%					

(注) 1. 「売上高」及び「営業利益」は、投資家の便宜を考慮し、日本の会計慣行に従った自主的な表示であり、IFRS で求められている表示ではありません。

2. 「売上高」は、取引形態の如何にかかわりなく当社及び連結子会社の関与する全ての取引を含んでおります。

3. 「営業利益」は、要約四半期連結包括利益計算書における「売上総利益」及び「販売費及び一般管理費」(貸倒引当金繰入額を含む)の合計額として表示しております。

4. 「基本的 1 株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

2.配当の状況 (1株当たり年間配当金)

	2016年 3月期(予想)	2016年 3月期	2015年 3月期
第1四半期末	_	-	-
第2四半期末		10.50ฅ	13.00円
第3四半期末	- "		-
期末	10.50円		13.00円
合計	21. 00 _円		26.00円

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

❸.2016年3月期の連結業績予想 (2015年4月1日~2016年3月31日)

	通期	対前期増減率
売上高 13	3,000,000百万円	-6.6%
営業利益	135,000百万円	-16.0%
税引前利益	230,000百万円	+84.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益	180,000百万円	+70.4%
基本的 1 株当たり当期利益	103.72ฅ	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

·丸紅は国際会計基準(IFRS)に準拠して連結財務諸表を作成しております。

[第2四半期累計期間] セグメント別四半期利益の状況をご説明します。 ■ 2014年度第2四半期累計期間 ■ 2015年度第2四半期累計期間									
(億円)			I I		1		1		
53	88	i !				İ		İ	
		! !		 					
400		 		 		1		1	
	306	! !		 					
200		I I	100	 		196		1	
200		157	192	159		190	122	130	129
							122	100	120
0									
					101				
-100		i I		 	-104	i		i	
:	生活産業	素は	प्र	エネルギ	ー・金属	電力・	プラント	輸注	送機
2014			015年度 [2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期
食料(穀物、		・ ポンロール オ ヘレナ事業	12HT#1	カ2ロ干州 エネルギー	#2HT#1	一電力	37 Z 🗆 🕂 193	1	一ス事業、建設・産業機械
37	'3 154	110	102	183	-113	151	205	130	129
ライフスタイ	ル、情報・物流、保険・不動産	化学品、紙パルプ		鉄鋼製品事業		エネルギー・環境・	インフラ、プラント	i	
16	64 151	47	90	73	45	45	-83		
		! !		金属資源					
		i 		-97	-36	i		i	
53	8 306	157	192	159	-104	196	122	130	129

生活産業

中国向け大豆取引の採算悪化による影響等により、売上総利益は、前第2四半期連結累計期間比62億円(4.1%)減益の1,456億円となりました。情報関連事業における関連会社株式の売却益や、保険・不動産分野において、海外不動産開発事業等における持分法による投資損益の増益があったものの、前年同期の米国穀物輸出施設の統合に伴う評価益の反動及び不動産関連事業の有価証券損益の減益等により、四半期利益は、前第2四半期連結累計期間比232億円(43.1%)減益の306億円となりました。

素材

ヘレナケミカル社での円安の影響、チップ・パルブ並びに石油化学製品の採算改善等により、売上総利益は、前第2四半期連結累計期間比143億円(16.7%)増益の999億円となり、四半期利益は、前第2四半期連結累計期間比35億円(22.4%)増益の192億円となりました。

エネルギー・金属

石油・ガス開発分野における油ガス価下落等により、売上総利益は、前第2四半期連結累計期間比152億円(53.0%)減益の135億円となりました。四半期利益は、前年同期のカナダ石炭事業における減損損失の反動があったものの、チリ銅事業等の持分法による投資損益の減益並びに石油・ガス開発事業での減損損失計上等により、前第2四半期連結累計期間比263億円(-%)悪化の104億円(損失)となりました。

電力・プラント

英国電力コンソリデーション事業の増益並びに南米車両納入案件の取扱高増加等により、売上総利益は、前第2四半期連結累計期間比3億円(1.1%)増益の309億円となりました。持分法による投資損益は、原油・ガスの洋上生産・処理サービス事業やFPSO傭船事業の稼働開始等により、前第2四半期連結累計期間比16億円(5.3%)増益の313億円となりました。一方、四半期利益は、海外電力IPP事業における持分売却益の計上があったものの、ウルグアイLNG受入ターミナル事業からの撤退に伴う損失を主因に、前第2四半期連結累計期間比73億円(37.5%)減益の122億円となりました。

輸送機

船舶関連事業並びに建設機械販売事業の増益により、売上総利益は、前第2四半期連結累計期間比57億円(12.8%)増益の504億円となったものの、ウルグアイLNG受入 ターミナル事業からの撤退に伴う損失並びに持分法による投資損益の減益により、四半期利益は、前第2四半期連結累計期間比横這いの129億円となりました。

[・]上記の説明文中における「四半期利益」は「親会社の所有者に帰属する四半期利益」であります。

^{・2015}年度より、「食料」、「化学品」、「エネルギー」、「金属」、「輸送機」、「電力・インフラ」、「ブラント」、「ライフスタイル・紙パルプ」、「情報・金融・不動産」及び

[「]海外支店・現地法人」としていたオペレーティング・セグメントを、「生活産業」、「素材」、「エネルギー・金属」、「電力・ブラント」及び「輸送機」に再編しております。

これに伴い前年同期のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております。

[・]上記数値は億円未満を四捨五入して表示しております。

2015年度上半期の丸紅グループニュースを一部ご紹介します。

宮城県岩沼市におけるメガソーラー

5月19日 リリース

稼働·竣丁式開催

8



2015











新潟県関川村におけるメガソーラー 竣工式開催

4月14日 リリース

チリにおける太陽光発電事業へ出資参画し、 南米電力市場へ参入

丸紅は、フランスの大手電力会社Électricité de France社の再生可能エネルギー発電事業会社である EDF Energies Nouvelles社との間で、チリ共和国 アントファガスタ州のアタカマ砂漠における太陽光発 電事業に共同で参画することに合意しました。

本件は、世界でも有数の日射量を有するチリ・アタカ マ砂漠に総出力146MWの太陽光発電所を建設し、 チリ北部で売電を行うものです。

丸紅は、世界的な低炭素電源の重要性の高まりと ともに、再生可能エネルギー発電事業に注力してい ます。同時に、電力・インフラ分野を非資源の注力分

野と位置付け、優良 案件への参画に積極 的に取り組んでいま す。本件への参画は、 これまで未開拓で あった成長著しい南 米雷力市場への新規 参入を達成するもの であり、今後南米地 域での取り組みを拡 大・加速させていく 方針です。



6月4日 リリース

フィリピン共和国運輸通信省向け「40m級多目的船 10隻建造及び特別予備品の納入J(ODA案件)の受注

ジャパン マリンユナイテッド(株)は丸紅の協力のもと、 40m級多目的船10隻の建造および特別予備品を、フィリ ピン共和国運輸通信省より受注しました。

これに伴い、ベニグノ・アキノ3世フィリピン共和国大 統領臨席のもと、フィリピン共和国運輸通信省との間で、 多目的船建造における相互協力につき協定書を締結しま

本件は日本政府の有償資金協力(ODA)「フィリピン沿岸 警備隊海上安全能力強化事業」に基づき、フィリピン共和 国運輸通信省が発注者となり、フィリピン沿岸警備隊が使 用する40m級多目的船10隻の建造および特別予備品の 供与を行うものです。当該多目的船は2016年8月末から 順次引き渡されます。

丸紅は、社会・交 通インフラからト レードに至るまで、 フィリピンにおいて 100年以上培った ビジネス実績を活か し、日比両国が相互 互恵的な関係を発 展させることに寄与 します。



8月3日 リリース

ミャンマー国有鉄道から 鉄道保安機材の受注

7月1日 リリース

米国アラスカ州における天然鮭鱒事業拡大

7月30日 リリース

福島県相馬市でのメガソーラープロジェクト (最大出力52.5MW)向けの太陽電池モジュール を受注

7月2日 リリース

英国ウェスタモスト・ラフ 210MW洋上風力発電 事業開所式開催

英国東部ヨークシャー州沖合での 大型風車据付の様子



6月21日

新卒採用説明会「丸紅 EXPO~己の強さで 世界に挑め。~ | 開催

2,000名以上の学生に向け、 自らの経験を語った國分社長



9月3日 リリース

チリ共和国における新規銅鉱床取得

9月14日 リリース

丸紅が持続可能性指標「DJSI World Iの対象銘柄に 8年連続で選定されました

9月16日 リリース

静岡県小山町におけるメガソーラー竣工式開催

9月7日 リリース

タイ王国バンコク都市鉄道パープルライン向け 車両出荷開始

丸紅と(株)東芝は、両社が出資する共同事業体を通じて受注 したタイ王国バンコク市の都市鉄道パープルライン向けの鉄道 システムおよび10年間のメンテナンス事業に関し、車両(2編成 6両)を大黒埠頭(神奈川県横浜市鶴見区)より初出荷しました。 納入両数は全21編成63両であり、2016年8月の開業を予定 しています。

日本の高品質の鉄道 技術を提供することで タイ王国ならびにバン コク市の人々に利便性 をもたらし、バンコク の交通問題の緩和や地 域経済の発展に役立つ よう、取り組んでいき ます。



11

·各種数値は、各リリース発表時点のものです。

10

Special Feature

集 [成長へのイノベーション]

資産の優良化

ヘレナ事業

丸紅は、2015年4月、従来より農業資材販売を行ってきた米国のヘレナケミカル社を母体とする「ヘレナ事業本部」を新設しました。ヘレナケミカル社は丸紅による買収後大きな成長を遂げ、丸紅の農業関連ビジネスの基盤として重要な役割を担っています。今回は、丸紅の「資産の優良化」の一例として、収益拡大を続けるヘレナ事業についてご説明します。

丸紅の農業関連ビジネスをリードする 全米第2位の農業資材ディストリビューター

ヘレナケミカル社は、農薬・肥料・種子などを取り扱う全米 第2位の農業資材販売会社です。1987年にバイエル社(独) から買収しました。

農業資材関連の市場規模が600億ドルといわれる米国において、同社は現在、売上高約46億ドル、シェア7%強、従業員約5,000人、全米440カ所以上の拠点を有し、約10万軒の農家を顧客として農業資材の販売と総合サービスの提供を行っています。

買収後、増資をはじめとする親会社丸紅からの経営支援により、同社は着実に収益を拡大してきました。現在、売上高は 買収当時の10倍以上に成長しています。

【表2】 ヘレナケミカル社 売上高と純利益推移(2000年~)

【表1】ヘレナケミカル社の米国内ネットワーク



Special Feature

集

[成長へのイノベーション]

ヘレナケミカル社の成長戦略 たゆまぬイノベーション

ヘレナケミカル社は丸紅による買収以降、特に2000年代の 米国農業資材市場の拡大動向を的確に捉え、飛躍的に業容を拡 大しました。市場を見据えたイノベーションの連続が、ヘレナ事 業成長の原動力となったのです。ヘレナケミカル社が取り組んだ いくつものイノベーションのうち、以下に3つをご紹介します。

取扱商品の多様化

元来、農薬の製剤・販売会社であったヘレナケミカル社は、将来的な成長性を見越し、農薬に加えて肥料・種子へと戦略的に販売商品を多様化していきました。同時にM&Aにより米国内で年間約10~20件の販売拠点を買収し、買収したネットワークを通じて競争力の高い自社の商品やサービスを提供することで、成長を加速させました。

オリジナル商品の展開

ヘレナケミカル社は販売会社としての役割にとどまらず、オリジナル商品の開発・製造販売を開始。これらのオリジナル商品を通じ、農家が抱えているさまざまな課題に沿ったソリューションを提供しています。500以上に上るオリジナル商品は、他社との差別化で事業全体の価値を高め、ヘレナケミカル社の収益向上に貢献しています。

高度な総合サービスの提供

ヘレナケミカル社は、ITを活用し農家のデータを長年にわたって 蓄積することで、各農家に対し生産性を上げるための最適な製品



ヘレナケミカル本社(米国テネシー州コリアーヴィル)

バッケージを提供。コンサルタントスタイルの営業手法を構築しました。また、精密なGIS(地理情報システム)技術を利用して畑の場所ごとの肥料最適化サービスを提供し、顧客からの高い評価を得ています。これらにより、ヘレナケミカル社は高い顧客定着率を実現しつつ、さらなる技術革新に日々努めています。

我々は、5年後10年後を視野に入れ、 ヘレナケミカル社がどのように成長し続け、 さらに強くなれるかを考えています。 同時に、業界の動向、顧客ニーズの 変化を的確に捉え、その変化に 対応していきます。

丸紅(株) 執行役員 ヘレナ事業本部長 ヘレナケミカル社 CEO

Michael McCarty

丸紅が活用するヘレナ事業の成功モデル

ヘレナ事業の順調な成長をケーススタディとして、丸紅が今後のビジネスに活かすべき切り口が2つ挙げられます。

[プラットフォーム型成長モデル]

ヘレナ事業は、ヘレナケミカル社自身によるM&Aという形で事業内容や拠点を拡大し、米国農業資材市場の成長を取り込んできました。ヘレナケミカル社のような地場密着型の企業は、経験を活かしながら周辺地域に拡大することができ、また比較的リスクも読みやすいという特徴があります。このような地場密着型企業をプラットフォーム(基盤)として活用しつつ事業を成長させるアプローチが、特に当社の海外ビジネス強化において非常に有効だと考えています。

[顧客ベースのアプローチ]

ヘレナケミカル社は顧客に 対する総合サービスで成功し ています。これは、"取扱商 品を売る"のではなく、"顧客 が求めるものを提供する"と いう考え方に基づきます。日々

移り変わる顧客の関心やニーズがどこにあるのかを見極め、 それに応えるためのソリューションを提供する、そうしたアプローチ から新たなビジネスチャンスが生まれると考えます。この考え方・ 手法は、丸紅のどの事業分野においても当てはまるはずです。







a) 農薬散布作業 b) 液体肥料の搬出 c) ヘレナケミカルグループ会社の工場(アーカンソー州)

資産の優良化に向けて

ヘレナ事業は30年近くにおよぶ歴史を通じ、丸紅の収益 に安定的に貢献する力強い存在に成長しました。

丸紅は、ヘレナ事業の成長戦略や成長モデルをグループ 内で共有しながら、他の事業にも積極的に導入し、その展開・ 拡張を図ってまいります。この取り組みを通じて、「資産の 優良化」を着実に進め、一層強固な事業基盤を確立してい きます。 丸紅グループ社員がお届けする、世界各地の暮らしや文化を紹介するコーナ

世界の街から

[アメリカ合衆国]



丸紅(株)ガビロン事業部付 コロンビア・グレイン社出向 桑野 洋平

> コロンビア・グレイン社 ヴァイス・プレジデントとして マネジメント業務を担当



★ 駐在員からの現地リポート



コロンビア・グレイ ン社(1978年設立) は、アメリカ西海岸で 最大規模の小麦取扱 量を誇る丸紅100% 出資の穀物事業会社 です。米国内に広く集

穀物輸出ターミナル 荷設備および輸出 ターミナルを持ち、全世界70カ国以上に穀物を輸出しています。

私は2011年に赴任し、オレゴン州ポートランドに約4年間暮ら

ポートランドは、リベラルな雰囲気が漂う魅力的な街です。街 には「Keep Portland Weird(ポートランドをヘンテコに保と う) というヘンテコなスローガンがあり、人々の地元愛を感じま す。ヒッピーがダウンタウンを闊歩し、州の消費税(Sales Tax) は0%。地産地消が推奨され、週末は地元農家によるファー マーズマーケットがにぎわいます。また、市内にあるビール醸 造所数が世界一を誇ることでも有名で、しゃれた醸造所に アーティスト風の若者たちが集まっています。郊外にはワイナ リーが点在し、クリントン元大統領から天皇陛下に献上され日 本でも有名になったピノ・ノワール種を使ったワインは、「オレ ゴン・ピノ」として親しまれています。

パイ皿を使えば

ホールタイプの

アップルパイもつくれます。

直径24cmのパイ皿で、

材料は1人分分量の

約4倍が目安。

ポートランドは自然にも恵まれており、街から車で1時間も 走れば、西には太平洋、東には「オレゴン富士」とも呼ばれる フッド山があり、海・山の

レジャーが楽しめます。

今回アメリカ料理と して紹介されている アップルパイは、現地 の家庭ではお手製デ ザートとしてよく登場 し、食後の楽しみと なっています。



ピクニック気分で楽しめるワイナリーめぐり

AMERICAN FOOD

アップルパ

アメリカ版「おふくろの味」 焼きたてがおいしいアップルパイです。

ご家庭でつくりやすい分量とレシピを紹介します。

〈材料 -1人分-〉

16

しています。

●冷凍パイシート……1枚(100g) ●りんご(お好みの種類で) ………1/2個 ●グラニュー糖…………小さじ1 ※りんごの甘さにより加減 ●バター・・・・・・10g

●卵黄(つや出し用、なくてもOK) …… 少々

- 〈つくり方〉
- 1 パイシートを常温で解凍し、2つに切る。
- ? りんごは芯と皮を取り 5mm 厚のくし形に切る。
- ♀ クッキングシートを敷いた天板にパイシートの 一方を置き、その上にりんごを並べる。
- 4 りんごの上にグラニュー糖をふりかけ、 小さく切ったバターを散らす。

たくの形は 丸でも四角でも お好みでOK!

5 もう一方のパイシートを 4 の上に被せる。周囲の つぎ目を軽くおさえ、表面につや出しの卵黄を塗る。

温度を 180 度に下げてさらに 10 分焼く。

210 度に予熱したオーブンで 10 分焼き、

【取材協力店】アメリカンクラブハウス 都立大学店 tel. 03-3725-0787 東京都目黒区中根2-10-1

※上記のお店では、アイスクリームをたっぷりのせたアップルパイに、トッピングソース(ブルーベリー/ラズベリー/チョコ/キャラメル/メープルシロップ)が選べます。

冷たいアイスクリームを添えた アップルパイ・ア・ラ・モードも人気! ポイントは オーナンで アップルパイは "家庭の数だけ味がある"ほど 温度を変えて Z回焼くことの アメリカ全土に 浸透する家庭料理の

丸紅が世界的に有名なCSR格付 会社から「持続可能性に優れた企 業」として連続表彰されました。

丸紅は2015年1月、世界的に有名なCSR調査 格付会社RobecoSAM社から「持続可能性に優れた 企業」として「RobecoSAM Industry Leader 2015」 および「RobecoSAM Gold Class 2015」に選定 されました。5月21日にはパレスホテル東京において 表彰式が開催され、丸紅からはCSR・環境委員会委 員長の松村専務をはじめ、関係者が出席しました。

本件は、RobecoSAM社が「持続可能性に優れた 企業 | を選定するもので、丸紅は昨年度に続く受賞と なりました。

丸.紅はステーク ホルダーからの期 待に応えるべく、 持続可能な社会 の実現に向けて、 引き続きCSR活 動を強化していく 方針です。



17



ROBECOSAM



ROBECOSAM Gold Class 2015

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM 40



丸紅は、世界的なSRIインデックスであるDJSI World Index、FTSE4Good Global Index Φ 組み入れ銘柄企業にも継続して選定されています。 (2015年9月末現在)

株式情報

株式の状況 (2015年9月30日現在)

— 1.737.940.900株 発行済株式の総数 ------203,931名 株主数

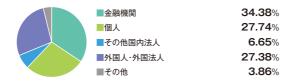
大株主 (2015年9月30日現在)

当社への出資状況

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	737,988	4.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	678,837	3.91
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	420,830	2.42
明治安田生命保険相互会社	418,187	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	341,656	1.96
株式会社みずほ銀行	300,000	1.72
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505223	268,640	1.54
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエー エヌブイ 10	266,759	1.53
バークレイズ証券株式会社	250,000	1.44
東京海上日動火災保険株式会社	249,301	1.43

[・]持株数は百株未満を切り捨て、議決権比率は小数点3位以下を切り捨てております。

所有者別分布状況 (2015年9月30日現在)



所有株数別分布状況 (2015年9月30日現在)



[・]円グラフの数値は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

直近/高値/安値(東証)

株価/出来高の推移(2015年4月1日~2015年9月30日)



会社概要/役員

会社概要 (2015年9月30日現在)

創業 1858年5月 設 立 1949年12月1日

資本金(単体) 262,685,964,870円

従業員の状況 従業員数: 4.485名

> 平均年齢: 41.1歳 平均勤続年数: 16.4年

·上記人員には、国内出向者601名、海外店勤務者·海外出向者·海外研修生865名が 含まれております。また、上記4.485名の他に、海外現地法人の現地社員1.500名、 海外支店・出張所の現地社員が431名おります。

当社ネットワーク (2015年10月1日現在)

本 社 東京都千代田区大手町一丁目4番2号 支社·支店·出張所 北海道支社、東北支社、名古屋支社、 大阪支社、中国支社、九州支社等 11カ所

海外

海外支店·出張所 モスクワ支店、イスタンブール支店、

ヨハネスブルグ支店、シンガポール支店、

クアラルンプール支店等 58カ所

現地法人 丸紅米国会社、丸紅欧州会社、

丸紅アセアン会社、丸紅中国会社等

30の現地法人及びこれらの

支店:出張所等 31力所

海外ネットワーク(66カ国119カ所/2015年10月1日現在)



役員 (2015年9月30日現在)

取締役会長 朝田照男 代表取締役計長* 國分文也

代表取締役副社長執行役員* 秋吉 満、山添 茂

代表取締役専務執行役員* 岩佐薫、川合紳二、松村之彦

代表取締役常務執行役員* 南晃、寺川彰、髙原一郎

取締役 北畑隆生、黒田由貴子 監査役 榎 正博、葛目 薫、末綱 隆

根津嘉澄、高橋恭平

常務執行役員 鳥居敬三、桒山章司、田中一紹

> 岩下直也、内山元雄、柿木真澄 石附武積、小林武雄、郡司和朗

執行役員 矢部勝久、河村 肇、矢部延弘

> 田邉治道、有宗政和、伊佐範明 橋本雅至、藏元正隆、小林伸一 相良明彦、宮田裕久、山﨑康司

株本幸二、氏家俊明

Michael McCarty、熊木 毅 岡田英嗣、酒井宗二、古賀久三治

- * 印の各氏は、代表取締役であり、かつ執行役員を兼務しております。
- 取締役北畑隆生及び取締役黒田由貴子*は、社外取締役であります。 監査役末綱隆、監査役根津嘉澄及び監査役高橋恭平は、社外監査役であります。
- 当社は業務運営の一層の強化を図るため、執行役員制度を導入しております。
- 執行役員は37名で構成されております。
- ※同氏の戸籍上の氏名は松本由貴子です。

IRニュースメールを配信しております

決算情報はもちろん、最新のビジネスの動きを伝えるニュースリリース等 当社の情報をタイムリーにお届けします。パソコンのメールアドレスをお持 ちの方ならどなたでも無料でご登録いただけます。是非ご利用ください。



詳しくは当社ホームページをご覧ください。

http://www.marubeni.co.ip/ir/news/mail/

19 18

丸紅所蔵のルネサンス絵画 展覧会出展へ ボッティチェリ作『美しきシモネッタの肖像』

2016年1月16日から東京都美術館で開催される 『ボッティチェリ展』に、丸紅が所蔵する『美しきシモネッタ の肖像』が貸し出されます。

日伊国交樹立150周年を記念する同展覧会には、『美し きシモネッタの肖像』をはじめ、約20点のボッティチェリ作品 が展示される予定で、日本初の本格的な回顧展となります。

ボッティチェリ展 会期 2016年1月16日~4月3日

会場 東京都美術館

Q botticelli.jp 検索





『美しきシモネッタの肖像』

環境に利益をもたらすこと 商社の仕事です。 私たち総合商社は、利潤を生み出す経済活動だけでなく、 社会や環境と共存していく活動が求められています。 丸紅は、持続可能な社会を実現するために、 日本で、世界で、環境リスクの低減に努めていきます。

株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日

中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日

みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人及び 特別口座管理機関

T103-8670

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

同事務取扱場所

みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部

T103-8670

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

单 元 株 式 数 100 株 上場 取引所

公告 方

東京・名古屋

電子公告

法

(なお、当社の電子公告は、当社インターネットホーム ページの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その 他やむを得ない事由によって電子公告による公告をす ることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。) http://www.marubeni.co.ip/ir/houteikoukoku.html

証券 コー 8002

インターネットホームページアドレス

http://www.marubeni.co.jp

株式事務に関するご案内

◆未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店及び全国各支店にてお支払いいたします。 ※なお、みずほ証券の本店及び全国各支店においても、取り次ぎをいたします。

◆配当金の支払明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

◆住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、 確定申告、相続に伴うお手続き等

【証券会社に口座をお持ちの株主様】

口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座をお持ちでない株主様(特別口座に記録されている株主様)】 みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

※確定申告の際には、株式数比例配分方式以外の配当金受取方式を選択された株主 様については、同封しております配当金計算書をご利用いただけます。

株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認 ください。

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 **∞0120-288-324**

株主レポート まるべに No.119 (年2回発行) 2015年12月1日発行 発行人/湯浅庸介 発行/丸紅株式会社 財務部

〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目 4番 2号 TEL 03-3282-2418



環境保全のため、環境に配慮した 植物油インキで印刷しています。